

平成21年度実施分 市民活動助成制度 (審査部会 本審査結果)

順位	団体名	事業名	事業費総額	対象経費		助成金額	可否	コメント (【付帯意見】又は【否の理由】)
				対象経費	対外経費			
1	バリアフリー まつど市民会議	バリア・バリアフリー体験教室 まち探検推進事業	144,000円	127,000円 17,000円	100,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。	
2	「まつど子育て・孫育てガイドブック」編集プロジェクト	まつど子育て・孫育てガイドブック作成事業	488,000円	473,000円 15,000円	100,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。	
3	特定非営利活動法人 ねばあらんど	子育てママ応援！ワタシ発見 わーくしょっぷ事業	136,000円	136,000円 0円	100,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。 幼児等の参加を伴う場合には、保険の加入を適切に行うこと。	
4	特定非営利活動法人 子育て支援ぼこら	子育てパパのともだち作ろう事業	112,000円	112,000円 0円	100,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。 幼児等の参加を伴う場合には、保険の加入を適切に行うこと。	
5	まつど版サポート資源提供 システム創る会	人材バンク「まつどの先生」プログラム事業	280,000円	210,000円 70,000円	100,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。	
6	まつど女性会議	まつどの女性のあゆみ編集事業	285,000円	280,000円 5,000円	100,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。	
7	特定非営利活動法人 子どもとまつど	三世代交流「まちなか劇場」事業	150,000円	125,000円 25,000円	100,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。	
8	小金おやこでえいが会	「映画で寺子屋」事業	123,000円	89,000円 34,000円	80,000円	合	参加費の徴収額及び成果物の販売額は、適正な価格を設定し、事業の自立に向け収入を確保すること。 事業予算については、内容を精査し適正な支出をすること。	
9	社団法人倫理研究所 家庭倫理の会松戸市	家庭倫理講演会	330,000円	260,000円 70,000円	100,000円	否	社会貢献事業として事業そのものは評価できませんが、既に継続的、自立的に行われている事業ですので、助成対象事業の要件として団体が新たに行う事業又は既存の事業を拡大若しくは発展させる事業と認め難く、本制度で助成する必要性は低いと判断した。多彩な活動を展開している団体ですので、今後の新たな提案を期待します。	

【市民活動助成制度 本審査】

開催日 平成20年10月29日(水)
 時間 午後1時30分～
 場所 松戸市役所 議会棟2階 特別委員会室

NO	団体名	事業名
1	特定非営利活動法人 子育て支援ぽこら	子育てパパのともだち作ろう事業
2	「まつど子育て・孫育てガイド ブック」編集プロジェクト	まつど子育て・孫育てガイドブック作成事業
3	特定非営利活動法人 子どもっとまつど	三世代交流「まちなか劇場」事業
4	まつど女性会議	まつどの女性のあゆみ編纂事業
5	まつど版サポート資源提供シ ステム創る会	人材バンク「まつどの先生」プログラム事業
6	社団法人倫理研究所家庭倫理 の会松戸市	家庭倫理講演会
7	特定非営利活動法人 ねばあらんど	子育てママ応援！ワタシ発見わーくしょっぷ事業
8	バリアフリーまつど市民会議	バリア・バリアフリエ体験教室・まち探検推進事業
9	小金おやこでえいが会	「映画で寺子屋」事業



事業計画書

事業名	子育てパパのともだち作ろう
団体名	NPO法人子育て支援ぽこら

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

私たちは、乳幼児の父親向けの連続講座を、2回実施してきたが、父親は大変仕事が忙しく、疲れている。そのため、育児参加が思うようにできないというのが現状だ。しかし密室保育で誰かに助けてもらいたい母親がたよりとするのはまず父親しかいないという現状がみられる。また一方では、そういった子育て中の親を支援したいと考えるボランティアや、祖父母の存在は増えている。そこで子育て中の父親だけだった対象の枠を広げ、祖父、プレ父親、学生、など幅広い年齢層を対象として講座を受講してもらう。

ここで具体的な子どもとの関わり方を学んでもらい、実践に役立ててもらふこと、また参加者どうしでつながりを持ってもらう。そしてパパどうし、乳幼児をもつ父親の友達として、様々な年齢層の人たちが子育てを支える関係になることが期待できる。

2. 申請理由

幅広い年齢層の方が専門的な知識を持った講師から学んでもらいたい。

絵本の与え方、子どもとのふれあい遊びの仕方、離乳食やおやつとの与え方など具体的で身近なノウハウを知ることにより、子育てをすることの楽しさを感じてもらふ。

男の人たちにも具体的なスキルがつくことによって、より自然に子育て参加・支援ができる。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

時期：平成21年6月以降の土曜日3回連続講座

場所：女性センターゆうまつど

講座・・・ホール 保育・・・多目的室

対象：乳幼児をもつ父親・祖父 これから父親となる人など広い年齢層
(男性の育児参加を応援したい人)

1回 20組の親子を対象におこなう。

時間：1回約2時間

内容：*おもに子どもとの自然なふれあいができるように講座の中で具体的な手法を身につける。

(約1時間)

*参加者どうしで話をする時間を各回に設けてその日におこなった講座の感想など意見交換する。(約1時間)

*毎回、その日に受講したことの感想を書く。

例：親子のふれあいやあそび・・・どんな遊びを子どもは喜んだか・実際にやってみて感じたことを簡単に主催者が用意した用紙にかきこんでもらう。

最終回には受講内容と、この感想をかきこんだものをまとめてそれぞれに渡す。

1回目：親子のふれあいやあそび

体操の講師による指導で親子いっしょに身体を動かす。

子どもが小さくて無理な場合は大人だけ体験する。

日常生活の中で無理なく簡単にできる内容とする。

2回目：実際に育児参加を積極的に実践している男性を講師とし、話を聞く。

また、男性による絵本の読み聞かせもおこなう。

3回目：離乳食・おやつとの与え方について

栄養士の先生からおはなしを聞く。

乳幼児のためのおやつを試食

*3回とも保育つき講座とし、保育者が講座中いつでも子どもを預かれる体制で行う。

4. 事業成果の活用と将来展望

最後は参加者が中心となり、子育てヒントや遊びなどがのった小冊子を作成。

また助成金がなくなったあともこの冊子をもとに、松戸ではまだない父子手帳のようなものを作り、市民に提供することを目標とする。

事業の予算計画書

【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	講座参加費	10,000 円	@20 組*500 円
	会費	2,000 円	
	自己資金合計 (a)	12,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a + b)	112,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	講師謝礼金	30,000 円	@3 人×10,000=30,000 円
	広報チラシの印刷	10,000 円	1000 部×10 円
	保育謝礼金	42,000 円	@7 人×3×800 円×2.5h=42,000 円
	消耗品費	22,000 円	
	参加者保険	6,000 円	
	対象となる経費合計額 (d)	112,000 円	
その他			
	その他経費合計額 (e)	0 円	
	事業費 (f) (d + e)	112,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

事業名	まつど子育て・孫育てガイドブック 作成事業
団体名	「まつど子育て・孫育てガイド ブック」編集プロジェクト

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

<目的>この事業は、「まつど子育て・孫育てガイドブック」編集プロジェクト会員が、松戸市内の子育てを支えてくれる行政や民間のサービス、及びサークル活動の方々に情報提供などの協力をいただきながら、松戸市内のあらゆる場所で、子育て真っ最中の両親及び、祖父母などを対象に、本音の、私たちが大切だと考える子育ての情報を、少しでも多くの方に（できれば第一号の部数よりも多く）手にとってもらえるよう行なっていきます。

<効果>「まつど子育て・孫育てガイドブック」第一号は、読者の皆さまから「子育てに役に立った!」「松戸の知らないことがいろいろわかって良かった」「もっと早くこの本に出会いたかった!」など、本当にたくさんの声を頂きました。これらの声からも、この本の持つ意義は大きいことがわかります。さらなる読者拡大のためにも、第二号の発刊は必要不可欠だと考えております。

<課題の現状>前年度計画では、「まつど子育て・孫育てガイドブック」は1年～2年程かけて、じっくりと販売網を拡げつつ販売する予定でしたが、予想に反して、発売後1ヵ月半で完売ということになりました。完売後も、「まつど子育て・孫育てガイドブック」を求める声は大変多かったのですが、資金面から増刷は無理と判断。できるだけ早い時期に次号発行する、ということで読者の方々に待っていただいている状況です。

少しでも早く、「まつど子育て・孫育てガイドブック」を待っている方々にこの本を届けられるよう、ぜひとも市民活動助成金で印刷費の補助のご協力をお願いしたいと思っています。

2. 申請理由

前年度、各方面から活動助成をしていただいたおかげで、無事「まつど子育て・孫育てガイドブック」を発刊することができました。また、今年度の松戸市の活動助成のお陰で会員のスキルアップや近隣の情報誌を作成している団体との交流や、編集の仕方などの研修会も実施・計画を立てています。どうもありがとうございました。

上記、<課題の現状>でも書いておりますが、「まつど子育て孫育てガイドブック」は私たちの想像以上に大好評で、約1ヵ月半で完売。その後も問い合わせが相次ぎ、しばらくはその対応に追われる日々でした。

完売後、スタッフの共通した思いは、「本当にこの本を届けたい人たちにはまだ届けられずにいる」ということでした。しかし増刷するにも資金不足で、本を欲しいという方々にお断りするのが苦痛でなりません。そこで、「まつど子育て孫育てガイドブック」が欲しい!という声に少しでも早く応えるため、前年度計画では<平成22年度に次号発行>の予定でしたが、1年前倒し

して、平成 21 年度夏に発行できれば、と思っております。つきましては、その印刷経費の一部として、今年度も市民活動助成金を有効活用させていただけたら、と思っております。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

2009 年 4 月～定例会、編集会議 記事、内容の最終確認

2009 年 5 月～月 2 回以上の定例会と編集会議、広告掲載企業及び協賛者募集・資金集め

2009 年 6 月～紙面調整、最終チェック、販売促進（宣伝）

2009 年 7 月 入稿

2009 年 8 月 発行、販売にむけてのイベントの開催

2009 年 9 月 反省会

2009 年 11 月 近隣市町村情報誌発行先との交流、研修

2010 年 2 月 次号に向けて、「編集の基本のキ・第 2 回研修会」

4. 事業成果の活用と将来展望

<事業成果> 市内の子育てサポート団体情報を一冊にまとめることによって、利用者を増やし、地域での子育てサポート活動がより活性化され、子育て中の市民ネットワークが更に広がると思われれます。

実際、「まっど子育て・孫育てガイドブック」第一号でその成果がある程度得られたので、第二号発行で部数や読者を増やすことにより、さらなる成果を期待できます。

<将来展望> よりきめ細やかな、子育て中の市民読者の気持ちに沿った内容の本の製作をしていきます。集まった子育て世代の生の声をデータベース化し、今後の松戸の子育て環境に役立てていきます。孫育ての部分の更なる充実を図ります。

助成金がなくなった後も、第一号、第二号の実績を元に、広告主との長期契約や会費、協賛金などを集めることによって、自立・安定した出版体制をつくっていきます。

事業の予算計画書

【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	年会費	13,000 円	@1,000 円×13 人
	本売り上げ金額	280,000 円	@400 円×700 部
	広告収入	75,000 円	5000 円×5 件、10000 円×5 件
	寄付金	20,000 円	10,000 円×2 件
	自己資金合計 (a)	388,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a + b)	488,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	第2号印刷費	400,000 円	800 部
	事務費	28,000 円	用紙代 7,000 円、インク代 15,000 円 コピー代 3,000 円、会場費 3,000 円
	郵送費	5,000 円	ガイドブック (寄贈分)・アンケート送付代
	委託料 (イラスト・委託料)	20,000 円	6 人*2,000~10,000 円
	謝礼金	20,000 円	10,000×2 人
	対象となる経費合計額 (d)	473,000 円	
その他	取材交通費、スタッフ会議費	15,000 円	
	その他経費合計額 (e)	15,000 円	
	事業費 (f) (d + e)	488,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

事業名	三世代交流「まちなか劇場」
団体名	特定非営利活動法人子どもっとまつど

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

<目的と効果>

シニア世代から子どもまでが一緒になって、笑ったり泣いたり、ワクワクドキドキする芸術鑑賞の体験を共有する場を松戸市内の様々な場所で展開します。

匠の技を持つ芸人や芸術家との出会で子どもたちは豊かな感性を育むと共に、シニア世代は昔懐かしい伝統の技への再会となります。

異世代が同じフロアを共有し、演者を交えての事後の交流会をすることで相互の理解が深まり、豊かな人間関係をはぐくみます。そのことで地域住民通しの繋がりも生まれコミュニティ再生の一助になると考えます。

<課題の現状>

一つ目の課題はメディア漬けのこどもの現状です。子どもたちの日常はTV・ゲーム・ビデオなど映像の文化に取り囲まれています。また、学校週休2日に伴いかつて小学校で行われていた芸術鑑賞教室が減少しました。芸術文化に触れることの大切さを理解しつつも、学習塾やスポーツ教室が優先されるなか子どもたちに届けることが難しい状況になってきています。

人の息使いを肌で感じるワクワクドキドキする「^{なま}生」の体験が、子どもたちの感性を育て豊かな人間関係を育むと考えます。

二つ目の課題は、核家族化に伴う「世代間の断絶」です。世代間のコミュニケーションの回復が、子どもを地域で見守り育てる安全安心な、文化の薫るまちづくりにつながることを考えます。

2. 申請理由

慢性不況にある現状から、匠の技を持つ芸人や芸術家により多くの人たちが出会う機会を作るためには、費用を受益者である高齢者や若年層のみに負担を強いることが難しくなっています。

また、演者のスケジュールを優先にすると稼働率の高い会場確保がとても困難です。会場の確保の支援を期待します。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

- 5月 上旬 地域の町会・自治会・老人会・子ども会への働きかけ
- 6月 下旬 広報開始
- 9月 下旬 三世代交流「まちなか劇場」実施/予定会場・新松戸市民センター
- 10月上旬 地域の町会・自治会・老人会・子ども会への働きかけ
- 10月下旬 広報開始
- 1月 中旬 三世代交流「まちなか劇場」実施/予定会場・五香市民センター
- 2月 下旬 振り返りの会

4. 事業成果の活用と将来展望

平成21年度は、市内2か所の開催ですが、今後は開催場所を増やしていきたいと考えています。

費用については、参加者数のアップと地元町会や子ども会からの助成をお願いしたり、地元企業との協働も視野に入れ、会場の無償貸与や広報チラシに広告を掲載するなどのことも検討していきたいと考えています。

平成21年度はそれに向けての実績づくりと考えています。

将来的には、三世代「まちなか劇場」のプログラムの充実をはかり市内の町会や子ども会の要請にこたえられるようになるように努めていきたいと考えています。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金) 参加費	金額	積算内訳
			50,000 円
	自己資金合計 (a)	50,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a + b)	150,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
		謝金	80,000 円
	広報チラシ/ポスター/プログラム印刷代	20,000 円	10,000×2 回
	会場費 (事前打ち合わせ)	5000 円	2,500 円×2 回
	機材レンタル料 (照明他)	20,000 円	10,000 円×2 回
	対象となる経費合計額 (d)	125,000 円	
その他	交流会費用	20,000 円	10,000×2 回
		円	
	その他経費合計額 (e)	5,000 円	
	事業費 (f) (d + e)	150,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

事業名	松戸の女性のあゆみ編纂事業
団体名	まつど女性会議

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

1994年、松戸市「女性のつどい」に参画した女性たちが、それまではその年毎に実行委員という形で参画していたものを継続して活動できるように組織化し、男女平等・男女共同参画社会を作り上げたいと「まつど女性会議」を立ち上げました。

その活動は、「松戸市女性行動計画」や「松戸市男女共同参画プラン」を松戸市とともに推進することを目標にし、第4回世界女性会議に松戸女性会議からも代表者を送ろうと北京プロジェクトをつくり研修を行い、報告会では「エンパワーするまつどのおんな」を開催し、北京会議で採択された行動綱領学習会を他団体とともに行いました。

また、市内の公共の場におかれている彫刻を検証し、そこに置かれる意味が不明の裸像や、かなりジェンダーの問題が感じられる彫刻について行政に申し入れをしました。そして、コンビニや店頭に置かれていて、誰もが気軽に読んだり手にできる「レディス・コミック」の学習会では、表紙はいかにも少女雑誌の体裁でありながら内容は暴力や性を扱ったもので、青少年への影響の大きさを慮り、書店と話し合い奥の方へ場所を変えてもらうなども行いました。啓発活動の一環として男女共同参画を題材としたパネルコントを市外にも出張公演したり、会員のエンパワーメントのひとつとしてパソコン学習会などを行っています。

「まつど女性会議」が設立されて15年になります。この15年を振り返り実感するのは、私たちが今日活動できるのは先人たちの礎があるからだということ。そして、戦後60年あまり経ち、松戸のその綺羅星のごとく活躍された方たちが高齢になられ、亡くなられたりということも耳にし、お会いしてお話を伺うことが難しくなりつつあります。今、聞いておかなければ埋もれてしまう！との思いから「女性のあゆみ編纂プロジェクト」をまつど女性会議の中で発足し活動を始めました。

調べていくほどに感嘆するばかり。昭和23年女性に参政権が与えられたその最初に松戸市議会議員に立候補した女性。「ポストの数ほど保育所を」という運動をして市議会議員になった人。働く女性の講座を作ってほしいと活動し実現した人たち。女性センターがほしいと多くの女性が運動をし、千葉県内で初の女性センター(当時は婦人会館)を作った人たち。そこを拠点に、消費者・環境・教育・子育て・文化・福祉・ボランティアなど様々な分野で、今も学び活動している多くの女性たちがいます。松戸市には女性の地位向上を支え、活動してきた素晴らしい女性たちがたくさんいました。その事実。かつてあの人がこんな活動をしていたという驚きの連続です。

松戸市の市史編纂には女性の姿は見えきません。「女性のあゆみ」では松戸が市になった昭和18年からの60年と短い期間を取り上げていますが、先人が書いた古い本や活動記録を手繰って見ると歴史に埋もれた多くの女性たちの姿が見えてきます。本質を見る目を持って活動していた女性たちの姿が明らかになるにつれ、先人たちの姿をしっかり残しておきたい、今残しておかなければ...埋もれさせてはいけないという思いが一層強くなりました。

2. 申請理由

繰り返しになりますが、今日の松戸を築いてきた方たちが高齢になり、あるいは亡くなって、埋もれてしまうことは大きな損失で、何としても冊子として完成させたいと思っています。そして、公共施設(市内の学校、図書館等)、支援団体、執筆協力者に贈呈もしたい。そのために、見やすく読みやすい装丁に仕上げたい。会員には、バザーに協力してもらったり、寄付を募ったりしていますが、それでも、編纂作業や資金の工面に難渋しています。冊子の印刷・発行費用に援助をお願いいたします。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

平成 19 年 1 月より活動を始めましたが、21 年秋には編集作業を終え発行に漕ぎ着けたいと思います。

冊子は総カラー印刷、40~50 ページ、500 冊製本。

作業内容…古い本や資料、活動記録などを調査・研究。大年表作成。

長年の活躍が女性として松戸で始めてという立場の方々(校長、市議、県議、団体の長等々)への取材と文章編集。原稿依頼の選任と連絡。パソコン入力他など。

これらの作業を、松戸市女性センターを拠点に、月 2 回を基本ペースに集まって行っています。

4. 事業成果の活用と将来展望

まつど女性会議は、基本的に収入は会員の会費と出前活動の謝礼やバザーや寄付であり、年次計画に基づいて活動しています。今後も変ることなく、このままの形で活動を続けていきます。これまでの先人の活動の掘り起こしで得られた成果をこれからの学習に生かし、松戸で今後活動していく女性たちの更なる飛躍へのエンパワーメントになることを確信しています。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	会費	60,000 円	2,000 円×30 人
冊子売上見込み	125,000 円	500 円×250 冊	
自己資金合計 (a)		185,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
収入合計 (c) (a + b)		285,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1事業あたり 10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	印刷・製本費用	200,000 円	「松戸の女性のあゆみ」製本
	通信費	50,000 円	郵送費、電話代
	消耗品	30,000 円	資料コピー、用紙、事務費
	対象となる経費合計額 (d)	280,000 円	
その他	お茶代	5,000 円	
		円	
	その他経費合計額 (e)	5,000 円	
事業費 (f) (d + e)		285,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

人材バンク「まっどの先生」プログラム

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p>現在、地域における教育や学習は、読書推進、食育、ボランティア、そして生涯教育など社会的な教育、学習が重視され始めて様々な場で展開されています。しかしながら、これらの社会的、体験的教育が市民の手による地域に密着した教育、学習として十分に機能しているとはいえません。そして、松戸市には優れた人材が様々な分野で活動しているにも拘らず、それらの人材を松戸の活性化に十分に活用する機会、場が少ないのが現状といえます。私どもでは、地域に密着した社会的、体験的教育、学習の場をつくと同時に、その人材、スキルをつなげることが重要であると考え、20年度は、人材バンク「まっどの先生」プログラムを立ち上げました。このプログラムは、松戸市民による松戸市民のための総合的な体験的な教育、学習の場をつくらうとする試みです。</p> <p>その目的と効果は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> *市内の市民活動団体、企業、スキルのある個人を活用することで、松戸に密着した社会的、体験的な教育、学習が展開される。 *市民活動団体、企業、スキルのある個人が教育、学習の場に積極的に参加することで、協働のまちづくりへの市民活動がより浸透し、活性化する。
<p>2. 申請理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> *サポート資源提供システム創る会は、市民活動情報ライブラリーの整備、充実を目指しています。人材バンク「まっどの先生」は、その情報ライブラリー活用の先陣としての位置づけをし、「協働のまちづくり」活動への意識・共感を高めます。 *20年度では、主に人材募集の説明会などのイベントの実施及び広報活動を展開し、人材を募集してきました。21年度では具体的な教育、学習の場「寺子屋まっど」(仮称)を創ります。人材バンクがその活動の場で活性化するためにも助成金が必要となります。
<p>3. 事業の内容、 実施方法、 スケジュール</p>	<p>20年度は、人材バンクの基盤づくりに全力を傾け、年度末プレ市民教室開催への道筋をつけました。21年度では、個人のスキル、NPO市民団体のノウハウ、企業及び事業者の社会貢献プログラムなどから信頼できる情報を集約し、中学生、小学生を中心とした学習の現場と結びつけることに尽力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆具体的な年度実行計画を策定 <4月～5月> ①まっどの先生決起大会(1回) <6月> ②小中学生及び学校アプローチ(Let's体験など) <6～8月> ③「寺子屋まっど」の開設(2回) <9月～12月> ④NPO見本市での発表会(1回) <3月> <p>※「寺子屋まっど」は、“まっどの宝”探索などのフィールドワークを絡めた学習の場とします。</p>
<p>4. 事業の成果と 将来展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> *企業、事業者との連携を目指すサポート資源提供システムの中で、市民活動情報ライブラリーの「まっどの先生」編として、さらに幅広いネットワークで運営展開されることが期待されます。 *小中学校への出張教室、生涯教育、その他各種体験教室など、常設「寺子屋まっど」の運営展開することを目指します。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	会費収入	150,000 円	
事業収入	30,000 円		
	自己資金合計 (a)	180,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	280,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	諸謝金	80,000 円	講師及び指導員 @20,000×4回
	広報チラシの印刷費	80,000 円	@20×1千部×4回
	チラシ作成委託料	10,000 円	
	人材情報ガイド作成委託料	30,000 円	
	会場使用料	10,000 円	サポートセンターなど @500×4h×5回
	対象となる経費合計額 (d)	210,000 円	
その他	スタッフの交通通信費	24,000 円	@1,000×3名×8回
	スタッフの事業活動報酬	36,000 円	@500×3h×3名×8回
	諸雑費	10,000 円	
	その他経費合計額 (e)	70,000 円	
	事業費 (f) (d+e)	280,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

事業名	家庭倫理講演会
団体名	倫理研究所 家庭倫理の会 松戸市

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

いのちを育み育てる場であるはずの家庭がぐらつきおかしくなりつつあります。今様々な社会問題を生み出した犯罪事件もその人間を生み出したのは、社会環境、教育環境にもあるでしょうが、我々は特に家庭にあるという視点をもって活動をすすめております。ですから、松戸においてもそれぞれの家庭をよくする様々なセミナーを各階層（子供、青年男女、子育て中のお母さん、壮年層、お年寄り）にむけて開いていますが、この講演会は年1回の集大成の講演会です。過去この講演会を聞いて様々な家庭問題の解決を見えています。課題としてはまだまだアピール度が足りないところです。

2. 申請理由

われわれの活動も松戸市の中で様々なボランティアとして私費を投入して活動を進めております。そんな中かなりの会員さんも生活費の中から捻出しているのが現状です。少しでも趣旨をご理解いただき助成して頂ければ幸いです。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

今年度の家庭倫理講演会は5月24日日曜日に松戸商工会議所にて230名の動員で『家庭をよくする』というテーマで行ないます。

内容的には様々な問題を抱えた人が家庭をよくする事から問題解決の糸口が見つかり実際、諸問題が解決した体験報告と、講師の講演を予定しております。

また講演会のアフターフォローとして、様々な問題が未解決な方に昼の集いと称して問題解決に相談士という資格を持った人間を中心に松戸市内で問題を抱えている人へのケアにあたります。

4. 事業成果の活用と将来展望

過去この講演会をとおして様々な家庭問題が解決したと申し上げましたがまだまだ絶対数としては松戸市の人口に対しては少数です。ただ一昨年より短歌を通して小学校とのパイプも出来つつあり、今後は、より松戸市とも協力し合って地域に密着した活動を展開してゆきたいのです。ですからこの講演会をなんとしても成功に結びつけたいのです。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金) 聴講料	金額	積算内訳
			230,000 円
	自己資金合計 (a)	230,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
収入合計 (c) (a + b)		330,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1 事業あたり 10 万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	使用料(会場)	50,000 円	ホール使用料、設備
	報償費	60,000 円	講師への謝礼
	消耗品費	150,000 円	会議資料・チラシ
	対象となる経費合計額 (d)	260,000 円	
その他	接待費	30,000 円	
	通信費・会議費	38,000 円	
	その他雑費	2,000 円	
	その他経費合計額 (e)	70,000 円	
事業費 (f) (d + e)		330,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

事業名	子育てママ応援！ ワタシ発見わーくしょっぷ事業
団体名	特定非営利活動法人 ねばあらんど

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

子育て中のお母さんは独りになる時間がなかなかありません。赤ちゃんは24時間お母さんを必要としているから当然です。しかし、核家族化の中では母子カプセルに閉じ込められていて、お母さんの閉塞感やイライラ感は子育てに悪影響を与えていると言われています。

そこで、お母さんは一人になる時間を持ち、一人の女性としての自分を見つめ直すことがとても大切です。そのためにこのワークショップ事業開催を企画しました。

それにより、子育てにゆとりを持つことになり、虐待の予防にも繋がっていくと思います。

また、この事業を通してたくさんの個性豊かな講師を発掘し、将来的には利用者の中からも家庭教育講師が誕生していけるように、松戸市の子育て世代のピアサポートの発展にも力を注いでいきたいと思っています。

2. 申請理由

ワークショップの開催にあたり、講師費用、一時保育委託金等の費用が不足している為。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

a) 事業内容

- ・アートセラピー講座
- ・ネイルケア講座
- ・アロマスプレー講座
- ・自分の気持ちに気づく練習問題
- ・子どもの心見つけ講座 など

b) 実施方法

- ・講師を招いて乳幼児を持つ保護者を対象に自分発見に関するワークショップを開く。

c) スケジュール

21年4月から22年3月まで毎月一回計12回開催。

4. 事業成果の活用と将来展望

この事業を通して培ったノウハウを松戸市全体に広げ、たくさんの地域で豊かな子育てをすることができるお母さんを増やし、明るく元気なまちづくりに貢献していきたいと思っています。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金) ワークショップ参加費	金額	積算内訳
		36,000 円	@10人*12回*300円
	自己資金合計 (a)	36,000 円	
市	助成金申請額 (b)		
	収入合計 (c) (a + b)	136,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1事業あたり 10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	講師謝礼金	60,000 円	12回×5000円
	広告チラシ印刷	11,200 円	1,120部×10円
	一時保育委託金	85,000 円	850時間×2人×12回
	講座材料費	24,400 円	40人×200円×12回
	対象となる経費合計額 (d)	136,000 円	
その他			
	その他経費合計額 (e)	円	
	事業費 (f) (d + e)	136,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。



事業計画書

事業名	バリア・バリアフリー体験教室・まち探検推進事業
団体名	バリアフリーまつど市民会議

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

「バリア・バリアフリー体験教室」は、大人も子どもも一緒に障害のある人やお年寄りとおふれあい、また“疑似体験”をすることで「新しい発見」・「新しい感動」・「新しい気づき」を実感してもらいます。そして、障害のある人との接し方やお手伝い、サポート方法など“心のバリアフリー”に繋がる動機付けにする活動です。また、「まち探検」にはいろいろありますが、バリアフリーの探検は、まちを歩きながら誰もが安全に安心して暮らすことができるかどうかの目線でチェックをします。また、お年寄りや障害のある人と協働で作業することで様々なバリアや当事者の苦勞や不安などを学ぶ場でもあります。そしてそれらを反映した「バリア・バリアフリーマップ」を作成し、広く啓発することを目的にした活動です。以上ふたつの活動は、『誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり』への関心を広く市民に広げることが目的とします。

バリアフリーまつど市民会議では、会発足（05年）以来3年、「まち点検」・「バリアマップ」作り、市民祭での「バリア・バリアフリー体験教室」を続け、本年（08年）これらを普及するためのリーフレットも作成しました。この間の活動は、バリアフリーのまちづくり、障害のある人、ない人との協働作業を通じて、心のバリアフリーの醸成と啓発に貢献しているものと自負しています。しかし、これらの取り組みは、全市的に見れば“点”の取り組みであり各地区・全市への取り組みに広げることが求められます。

2. 申請理由

超高齢化社会を迎えている現在、安全で安心な「やさしさいっぱい」のまち作りは急務です。また、千葉県では全国に先がけ「障害のある人もない人もともに暮らしやすい千葉県づくり条例」を作りました。「体験教室」と「まち探検」は暮らしやすいまち作りを考え、学ぶ場です。この二つの取り組みは、大変時機にかなっていると考えます。町会や商店会、学校や老人会など様々なグループが、障害当事者とともに気軽に取り組めるようにしていく必要があります。これを実行するためには、地区ごとのワーキンググループの立ち上げ、グッズの作成、リーダーの養成などが必要であり、会費だけでは賄いきれません。ぜひ助成をお願いするものです。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

08年に作成した「体験教室」「まち探検」普及リーフレット（別添）を活用して以下の取り組みをします。

① 5月

- ・会員と市民参加でプロジェクトを立ち上げ、意見交換会、勉強会を開催し地域住民や障害者の意見を収集する。

② 7月～9月（上半期）

- ・市のバリアフリー事業の進捗も考慮し、「まち探検」を実施し「バリア・バリアフリーマップ」を作成する。

③ 10月～1月（下半期）

- ・「松戸まつり」への参加。出前「体験教室」を2地区で計画。
(小学校、学童保育、社協まつりなどでの実施を検討中)
- ・「やさしいまちのためのシンポジウム（仮称）」を開催する。

④

- ・事業期間中に今後の活動を展望し、「バリアフリーまち作りリーダー養成講座」（仮称）を開催する。

4. 事業成果の活用と将来展望

一つ一つの取り組みは、できるかぎり地域の町会、商店会、老人会、障害者団体、個人、有識者、学生および行政、鉄道事業者等の協力を得ながら「ワーキンググループ」を立ち上げ実施して行きます。この活動の中で育ったメンバーが“核”となり自立してこの活動を点から線へ、線から面へと発展させる土台となって行きます。

事業の予算計画書

【収入】

	(自己資金) 会費・寄付	金額	積算内訳
申請者		44,000円	@1,000円×44口
	自己資金合計(a)	44,000円	
市	助成金申請額(b)	100,000円	
	収入合計(c)(a+b)	144,000円	

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	報償費	15,000円	講師・アドバイザー5,000×3人
	印刷費	20,000円	報告書、チラシなどの印刷
	消耗品費	40,000円	材料代30,000 会議資料用品費10,000
	委託料	14,000円	バリアマップなどの作図
	使用料	24,000円	会場使用料14,000 運搬車両借上げ10,000
	通信費	5,000円	案内の郵送代
	保険料	9,000円	行事保険
	対象となる経費合計額(d)	127,000円	
	その他	スタッフ飲食費用	5,000円
会員外スタッフ交通費		12,000円	@300×40人
その他経費合計額(e)		17,000円	
	あ事業費(f)(d+e)	144,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

事業名	映画で寺子屋
団体名	小金おやこでえいが会

1. 事業の目的と効果及び課題の現状

- ①地域で子ども（中高生を含む）と大人と一緒に映画を観る機会を提供する→少子化、核家族化によって、テレビやアニメ、映画を見る機会は多くても、大勢で一緒に観る機会は少ない。一緒に観ることで、大家族のような、あるいは地域のお祭り（野外）や学び合い（室内）のような時間と場所を創出したい。
- ②これまではしていない中高生向けの映画やビデオ、DVDの映画会を提供する→乳幼児や小学生向けには様々な団体が活動をしているが、中高生に向けての活動はとっかかりが難しく少ないように思う。しかし、地域に中高生の学校以外の居場所や学びの場所、あるいは異年齢、異世代と交流できる場所や機会が必要だと思う。そのための第一歩として、映画会を通して、交流する機会を持ち、中高生の居場所作りにつなげていきたいと思っている。

2. 申請理由

母体である「小金あそびばの会」、さらに共催している「小金おやこでえいが会」が年に2回開催してきた星空映画会、クリスマス映画会を継承しつつ、「小金おやこでえいが会」の活動をして、独立させ、プログラムを発展させていきたい。21年度は運営団体を「小金おやこでえいが会」として「映画寺子屋事業」として、申請します。

3. 事業の内容、実施方法、スケジュール

- 4月・・・準備会開催（年間の活動予定表を作成）
- 7月・・・8月の星空映画会の演目を決めるための試写会（参加費無料）
- 8月・・・工作&星空映画会（参加費無料）
- 11月・・・クリスマス映画会の演目を決めるための試写会（参加費無料）
- 12月・・・クリスマス料理会&映画会（参加費100円×50人）
- 2月・・・ドキュメンタリー映画会（中高生向けの演目とする。参加費100円×30人）

◎会員は随時個々に子どもと大人と一緒に観て楽しんだり、考えたり活用できそうな番組は録画したり、映画やアニメの情報収集をして試写会で活用する。

4. 事業成果の活用と将来展望

- ①小金地区に幼児や小学生に児童館のようなあそびばや居場所をつくりたいという有志から始まった「小金あそびばの会」は4年半が過ぎました。その活動の中で小学生の高学年、中学生の居場所についても必要を感じ、何かできないかと思っていました。21年度の計画に入れた中高生向けの映画会での感触をてがかりに、地域の中高生と交流でき、新たな活動の提案ができるのではないかと考えている。
- ②購入したビデオやDVDだけでなく、テレビのドキュメンタリーの録画を行い、それらをリスト化し、子ども、中高生、大人と一緒に楽しんだり、学習に活用できるようにリスト化し、将来的には貸し出しも検討する。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
			8,000 円
		35,000 円	千葉コープ地域ネット助成金
	自己資金合計 (a)	43,000 円	
松戸市	助成金申請額 (b)	80,000 円	
	収入合計 (c) (a + b)	123,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1事業あたり 10万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	映画フィルム購入金	20,000 円	ドキュメンタリービデオを購入 10,000 円 \times 2本
	印刷、コピー費、用紙代、インク代等	15,000 円	映画会、学習会のポスターチラシ、資料等
	行事保険料	3,000 円	ボランティア行事保険代
	映写機等レンタル料	4,000 円	ビデオデッキのレンタル料 2,000 円 \times 試写会 2回分
	映写技師への謝礼	4,000 円	2,000 円 \times 2回分
	会場費	3,000 円	打ち合わせ、試写会等会場費
	料理会講師料	5,000 円	クリスマス映画会に合わせて、料理実習会を行い、参加者に試食してもらうために講師料
	料理会材料費	10,000 円	クリスマス料理会材料費 (200円 \times 50名) として

	工作材料代、文具費	7,000 円	星空映画会時の工作の材料費と文具費など
	ドキュメンタリー映画会での講師料 (1 回分)	8,000 円	ミニ講演や話題提供の講師を依頼予定。
	ポスター等制作費	6,000 円	2,000 円×3 回
	映写機等運搬費	4,000 円	16 ミリ映画機材やフィルムの運搬のためのタクシー又はガソリン代 (往復 2,000 円×2 回)
	対象となる経費合計額 (d)	89,000 円	
その他	掃除機購入	20,000 円	会場の掃除用
	活動交通費、通信費	4,000 円	市役所、千葉銀行、サポートセンター、ボランティアセンターへの交通費や通信費
	会議費	7,000 円	スタッフ準備会や会員の交流会の飲み物、軽食代等
	雑費	3,000 円	星空映画会等参加者お菓子代等
	その他経費合計額 (e)	34,000 円	
	事業費 (f) (d+e)	123,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。